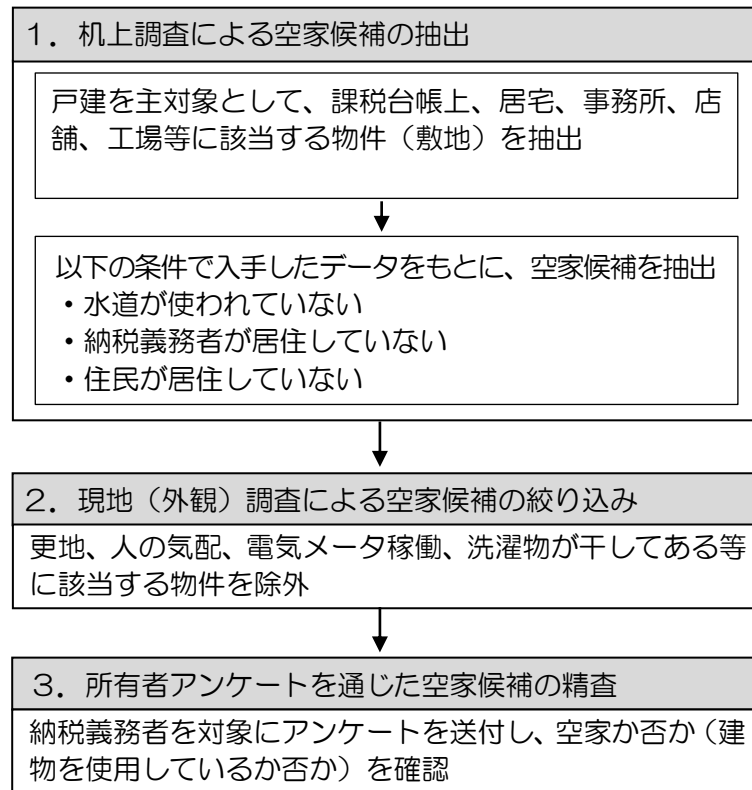


1. 調査概要

市内に存在する空家の数量・分布等の全体像の把握や、空家所有者の意識・意向の把握等を目的として、平成29年度に「空家等実態調査」を実施しました。

2. 空家の数量・分布に係る調査の結果（概要）

■調査フロー



■調査フローに基づく、空家件数の集計

区分	結果	備考
①机上調査による空家候補の抽出	空家候補 ⇒1,526件	
②現地（外観）調査による空家候補の絞り込み	空家候補 ⇒713件	・現地調査の対象は1,550件（敷地の利用状況により、筆の合体・分割を実施）
③所有者アンケートを通じた空家候補の精査	建物の実態 ⇒使用中…190通 ⇒未使用…165通 ⇒無回答…7通	・アンケート配布数は703通（同一所在地で同一納税義務者の場合は1通でまとめた） ・アンケート回収数は362通
④まとめ（①～③を踏まえた結果）	空家と想定されるもの 517件	・②の結果による空家候補数から、③の結果による「使用中」の数量を除外して算定 ・アンケートの回答者が空家候補を複数所有している場合も考慮して算定

■空家の建築年の状況

旧耐震基準に該当するもの*は 398 件であり、全体の約 8 割が耐震性に不安がある（そのままの状態
で流通・利活用することが難しい）という状況です。

表. 建築年別空家件数（建築年の出典：家屋課税台帳）

年号	件数	
昭和40年（1965年）以前	125	↑ 旧耐震基準（398件）
昭和41年～昭和55年（1966年～1980年）	273	
昭和56年～平成11年（1981年～1999年）	100	↓ 新耐震基準（s 56.6.1～）
平成12年～（2000年～）	12	
不明	7	
合計	517	

※旧耐震基準は昭和 56 年 5 月までですが、便宜上、昭和 55 年までとしています。

■空家の分布状況（地区別）

空家件数の最も多い地区は、甚目寺地区で 246 件です。

表. 地区別空家件数

3地区合計	517
-------	-----

地区名	区名	区別件数
七宝	市街化区域	72
	市街化調整区域	59
合計		131

地区名	区名	区別件数
美和	市街化区域	65
	市街化調整区域	75
合計		140

地区名	区名	区別件数
甚目寺	市街化区域	237
	市街化調整区域	9
合計		246

※空家件数の多い地区が、空家等の割合が高いとは限りません。

■空家の分布状況（駅からの距離等）

空家は、市内全域にわたって広く分布しています。

半数以上の空家が駅から1km以内・徒歩圏内の交通利便性が高い場所に分布している、という状況です。

ただし、駅から2kmを超える地域であってもバス路線の周辺に分布している空家もあります。

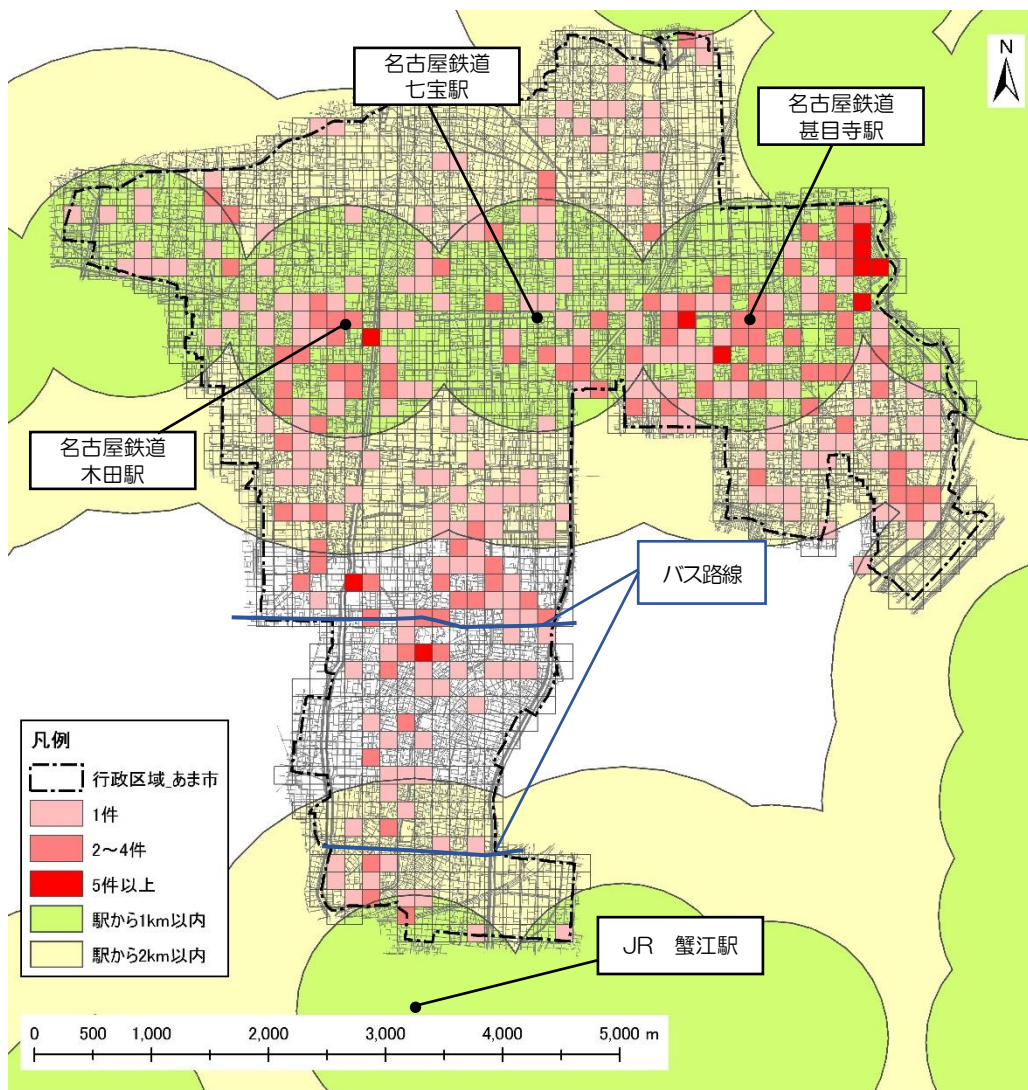


表. 駅からの距離別空家分布状況

駅からの距離	件数	割合
1km 以内	288	55.7%
2km 以内	143	27.7%
2km を超える	86	16.6%
計	517	100.0%

■区域別空家件数

全体の約7割は市街化区域に分布している、という状況です。

表. 区域別空家件数

名称	件数	割合
市街化区域	376	72.7%
市街化調整区域	141	27.3%
計	517	100.0%

■所有者等の居住地別件数

所有者の約4割はあま市外に居住しており、その内約1割が愛知県外に居住している、という状況です。
愛知県外に居住している所有者の空家の中には、管理不全な空家の存在も考えられます。

表. 所有者等の居住地区分

居住地区分	件数	割合
市内	306	59.2%
市外県内	163	31.5%
県外	48	9.3%
計	517	100.0%